

(様式第4号)

上田市総合計画審議会（第3回全体会） 会議概要

1 審議会名	上田市総合計画審議会（第3回全体会）
2 日 時	令和6年11月15日 午後1時00分から午後1時40分まで
3 会 場	市役所本庁舎 5階 大会議室
4 出席者	原有紀会長、西入直喜副会長、中村彰委員、柳沢裕子委員、安藤健二委員、井上拓磨委員、山本幸恵委員、矢島富士雄委員、田中舞委員、葛西剣介委員、宮嶋絵美子委員、西藤直義委員、大久保昌則委員、唐澤信広委員、宮崎涼委員、水寄歩実委員、荒川玲子委員、永井理恵委員、高橋比呂美委員、中島冬陽委員、竹花のり子委員、丸山宏尚委員
5 市側出席者 （部局長・課室 長のみ記載）	大矢政策企画部長、山賀市民まちづくり推進部長、田中環境部長、北島福祉部長、室賀健康こども未来部長、北沢産業振興部長、小林文化スポーツ観光部長、佐藤都市建設部長、北沢真田地域自治センター長、酒井武石地域自治センター長、宮島上下水道局長、片山秘書課長、山田危機管理防災課長、清住政策企画課長兼学園都市推進室長、宮島広報課長、山崎総務課長、根岸財政課長、堀内市民参加・協働推進課長、山田移住交流推進課長、西澤環境政策課長、柳沢福祉課長、櫻井健康推進課長、翠川商工課長、小林文化政策課長、宮沢観光シティプロモーション課長、竹内管理課長、木内住宅政策課長、松木消防総務課長、春原丸子地域自治センター次長兼丸子地域振興課長、小林真田地域自治センター次長兼真田地域振興課長、緑川経営管理課長、町田教育総務課長、上原生涯学習・文化財課長
6 公開・非公開	☒ 公 開 ・ ☐ 一部公開 ・ ☐ 非公開
7 傍 聴 者	1人 記者 3人
8 会議概要作成年月日	令和6年12月12日
協 議 事 項 等	
1 開会（大矢政策企画部長）	
2 会長あいさつ（原会長）	
3 協議事項（以降進行：原会長）	
（1）第三次上田市総合計画将来都市像・キャッチフレーズ（案）について	
・資料に沿い、清住政策企画課長から第三次上田市総合計画将来都市像・キャッチフレーズ（案）について説明	
一質疑・意見等なし	
・決定事項：本案を採用とする	
（2）重視する「6つの視点」（修正案）について	
・資料に沿い、清住政策企画課長から重視する「6つの視点」（修正案）について説明	
一質疑・意見等なし	
・決定事項：本案を採用とする	

(3) 上田市版人口ビジョン改定（案）及び人口目標について

- ・資料に沿い、清住政策企画課長から上田市版人口ビジョン改定（案）及び人口目標について説明
- ・以下、質疑応答

(委 員) 社人研(R5)の推計値（灰色の線）は、出生率と転出率がいくつだとこの数字まで落ちてくるとして計算されているのか。

(事務局) 社人研の計算については現状の傾向等を踏まえた数字を使っている。本市の出生率は令和 4 年だと 1.37 となっているが、近年の状況等を踏まえて計算し推計として将来を見据えている。社会増減についても、自治体ごとの近年の平均的な移動傾向等も踏まえながら、少し複雑な部分もあると思うが、推計された数字となっている。

(委 員) もう一点伺いたい、R2 の時点での出生率とそれに対する今の転出率というのはどのくらいになっているのか。1.37 ぐらいからあまり変わっていないのか。純移動率に関してもどのくらい抑制できているのか加速されているのかというのを知りたい。

(事務局) 細かな数字は少しお時間いただきたいが、合計特殊出生率は横ばいか、あるいはやや下がっているような状態である。しかしその期間にお子さんを産む女性の人口が減っているの、合計特殊出生率が同等でも、報道等でも示されているとおり、出生数は減っているのが現状である。令和 2 年の合計特殊出生率が 1.39 だったのに対して令和 3 年で 1.38、令和 4 年で 1.37 というように、0.01 ポイントずつ下がっているような数字は示されている。

(委 員) これから議論されていくことなのでそれほど大きく質問することではないが、総合計画や地方創生の戦略でも、出生率に関する目標設定がされているにも関わらず、それに帰する決定的な政策を受けていないのでおそらく横ばいになっているのかと思う。相当ドラスティックなことをやらないと合計特殊出生率を 1.68 や、まさか 2.07 まで上げるのは相当厳しい目標だと思うので、それをしっかりと政策の中心として入れていってもらわないと、2035 年にまた結果は横ばいでしたと言っているのではないかと思います。これから政策に生かしていくときにきちんと入れていただきたい。

(事務局) 前回の人口ビジョンを策定したときもそうだったが、やはり合計特殊出生率、子どもの生まれる数を増やしていくというのは非常に大変なところである。出産育児といったところの政策も進めながら、先ほど申し上げた社会増、若者等の転出抑制、そういったこともあわせて今回のまちづくり計画でも重点を置いて策定できればと思う。

- ・決定事項：人口目標については 2025 年(令和 37 年)を 14 万 2,000 人以上とする

(4) 第三次上田市総合計画まちづくりビジョン（案）について

- ・資料に沿い、清住政策企画課長から第三次上田市総合計画まちづくりビジョン（案）について説明
- ・以下、質疑応答

(委 員) 内容に関してはこれからやっていくということでもいいと思うが、先ほどの人口動態もそうだが、第二次ではどうだったのかというところがどうやって盛り込まれるかというところで、反省点を生かして何をやっていくのかははっきりした方が、市民が見て分かりやすいように思う。毎回新しいものが出てきて過去がどうだったのかが見えないと、何かを変えなきゃいけないというのがきちんと説明できないと、市民がこれだけ見ても「ああ そうなんだ」となってしまうので、市民に示す際にはそういったことが説明されていると、より分かりやすくなるかと思う。

(事務局) ご意見として承りたい。この後の、実際にまちづくり計画を作る部会の方でも、当然ながら今までの計画の評価を反映した中で新しい計画作りをしている。今おっしゃられたように、市民の方に対してはこの 10 年間どうだったのかというようなところお示しさせていただいてたうえで、次の 10 年はこうするというようなところもお示しできるかどうかまた検討したい。

(委 員) その時に施策ごとに入れると分かりにくいので、結局「なぜ出生率が上がらなかったのか」というところにフォーカスして、次はこういう施策をやっていこうと思っているということ

をやらないと、施策だけ示されても市民は分からない。重要な **KPI** に対して、なぜ動かなかったのか、目標を下回ってしまったのかをきちんと振り返って、市民に示すことが重要。そういった説明の仕方をしてほしい。

(事務局) 資料4「まちづくりビジョン案」に「はじめに」という部分もあるので、こうした中で第3次を策定した、というような分かりやすいものが入れられればいいかなと思うので検討したい。

4 事務連絡

(1) 本日の部会について

(2) 次回全体会について

日 時：令和7年2月6日（木）午後3時30分から

※同日午後1時から部会開催予定

場 所：市役所本庁舎5階大会議室

6 閉会